



羽合小学校 学校通信

平成27年4月14日 NO.4

教育目標は

わたしたちの羽合小学校の1年が始まりました。羽合小学校は教育活動について次のように考えています。

【羽合小学校の教育目標は】

「やさしく かしく たくましく」

こどもたち一人ひとりが目標の実現にむけて、ねばり強く挑戦できる力を身に付けることをめざして教育活動を行います。

【その実現のための5つの基本方針】

- 「わかる」から「できる」、「できる」から「つかえる」へ、こどもたちの生きる力の育成を図ります。
- 教育目標実現にむけて、ねらいを明確にした教育活動の展開を図ります。
- 価値観の共有化を図り、家庭・地域と連携した教育活動を推進します。
- 保護者や地域の信頼に応える学校作りのために、積極的な情報の発信と学校評価の活用を図ります。
- 魅力ある教育活動の展開するため、校内各組織の機能を明確にし、機動的な運用を行います。

【あたりまえにできる】

先日、町立図書館の入り口付近を歩いていると、そこにいた数人のスポ少野球部のこどもたちが帽子を取って「こんにちは」とあいさつしてくれました。スポ少の指導の中であいさつについてもご指導いただいている事と思いますが、あたりまえのことがあたりまえにできることが素晴らしいです。手抜きのない練習が見えるようです。

【羽合小の目指す児童像は】

- 礼を尽くすことができる子ども
自他を共に思いやり、その心を表現できる児童の育成をめざします。
- 場を清めることができる子ども
自ら進んで学習の場を美しくすることができる児童の育成をめざします。
- 道を拓くことができる子ども
ねばり強く挑戦することができる児童の育成をめざします。

こどもたちには感謝の心を持ち、自他のために労を惜しまない人に成長してほしいとわたしたちは願っています。そのために教育活動があります。

私たちの羽合小学校では

【師弟同行】

師弟は同じ道を歩まねばなりません。子供にとって師たる私たち教師も親も、子供達に指し示す同じ道を歩み、励まし、導かなければなりません。私たちの生き様が問われています。子供達を間にはさんで、教師も親も、共に学び、価値観を共有しながら同じ道を歩んでいきたいと思ひます。1年間よろしくお願ひします。

羽合小学校 寺谷英則